

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	作詞・作曲4	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	ヴォーカリストコース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	演習
教科書/教材	時々、授業内容によって資料を配布する。毎授業ノートはとってもらいたい。				
担当教員情報					
担当教員	坂詰美紗子、鈴木一義、下條慧		実務経験の有無・職種	有・シンガーソングライター、作家	
学習目的					
クリエイターとボーカリストがチームとなり、それぞれが持つ苦手分野を互いにフォローしつつ、一曲グループ制作する。共同でメロディー（旋律）を作れるようになる。コライト方式で楽曲制作に取り組んでみる。					
到達目標					
修了ライブに向けて或いは個人のアーティスト活動やオーディションで披露出来るような、オリジナル楽曲を作れるようになる。これまで作曲をやったことがない子も、この授業でオリジナル曲を制作してみる。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。					
教育方法等					
授業概要	この授業では音楽理論の授業や作詞の授業など他の授業科目で学んだことを生かしながら、チーム制によって楽曲の旋律がかかるようになることを目的とします。				
注意点	授業中の私語や受動態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	0%			
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	40%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	60%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画 (1回～15回)					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	班分け	クリエイター、ボーカリストをチームに分ける			
2回	曲の構想	どのような曲にするのかを各班に分かれて話し合う			
3回	共同(グループ)制作について	共同で楽曲制作をする場合の注意事項、ポイントなどを理解する			
4回	コードからの制作	コードのケーデンスを例として提示し、そこにメロディをはめていく方法を伝える			
5回	コードの並べ方	ダイアトニックコードの復習			
6回	コードトーンについて	コードにメロディーを乗せるときの注意として、コードトーンを理解する			
7回	アポイドについて	コードトーン及びアポイドのーとについての再確認			
8回	メロディから制作する	メロディを鼻歌などで作り、そこにコードを当てはめる			
9回	メロディを演奏する	楽器を使ってメロディを演奏し、正しい音を確認する			
10回	メロディにコードを付ける	アポイドを意識しながらコードを並べていく			
11回	キーの理解	メロディが先の場合、何のキーなのかを理解する			
12回	コード付	キーから導き出したダイアトニックコードを使用してのコード付			
13回	サビのメロディ	サビを意識してメロディを作ってみる (8小節)			
14回	サビの意識	どう盛り上げるのか、そのラインづくり			
15回	サビを発表	サビ部分を全班が発表していく			